

# 公園の風景

## ～ オオヨシキリおおいに囀る ～

東南アジアから夏鳥として日本にやって来ます。葦原や草地を飛び回り昆虫、クモ類、草木の実を採食、雄は数ヶ所のシングポスト（さえずる場所）を移動します。あまり広くもない縄張りを守るため、大きな口を開け独特の鳴き声「ギョギョシ、ギョギョシ、ケシケシ…」と昼夜おかまいなしに鳴きます。一夫多妻で、子育ては、もっぱら雌のみで行います。体色は雌雄同色で地味な灰褐色なので、鳴き声を聞かなければ葦原で見つけることは難しい鳥です。



## ～ スズメの困惑 ～



バードウォッチング途中での光景です。観察棟に巣を作り子育てに励んでいたスズメの夫婦。その日も捕まえた餌の巣運び作業に専念していました。ところが、バードウォッチングの一行が接近し、作業を中断せざるをえない事態が発生しました。スズメは餌を啜えたまま右往左往しています。来園者の方々には楽しいバードウォッチングも生き物達には厳しい試練のひと時になってしまうこともあるのだと思いました。野生生物と人の住み分け、共生を考えるのは「これから」では

なく「今でしょう」。

自然観察の基本マナーとして「やさしいきもち」という言葉があります。自然観察を楽しむ上での遵守項目の頭文字を繋ぎ合わせたものですが、このことは自体がすでに自然観察の基本マナーを現していると思えます。野生生物の命・生活を大事に考えたいものです。